



夏休みは家庭や地域で 子どもを守りましょう

子どもたちにとって、待望の夏休みが始まります。夏休みは家庭や地域で社会勉強をする。貴重な期間です。

規則正しい生活を心がけて

夏休みは、子どもたちの気が緩み、友達と外出して帰りが遅くなったり、夜中までテレビゲームや携帯電話でメールをしたりと生活が不規則になりがちです。

家庭では、門限や就寝時間を決めて生活リズムを整えましょう。また、夜は子どもだけで外出させないようにし、子どもの非行防止に努めましょう。

夏休みでも、早寝・早起きを心がけましょう。

改正 県青少年健全育成条例の

インターネットに接続可能な携帯電話（スマートフォン）の普及により、子どもたちは豊富な情報を簡単に入手することができま。しかし、情報の中には有害な情報

気くばり、目くばり、声かけを！

7月は

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」です。

家庭で注意すること

- 子どもが遊びに行くときは、行き先、帰る時間を確認し、遊び友達の親と連絡を取り協力して見守る。
- 子どもの姿が見えなくなったり、帰宅時間になっても帰ってこなかったりするときは、ためらわず110番する。
- 子どもが不審者に声をかけられたときは、すぐ警察や学校に連絡する。
- 「子どもが守ること」を日ごろからよく話し合っておく。

PTA・子ども会など 地域ぐるみで注意すること

- 公園、空き地、人通りの少ない路地などで、一人で遊んでいる子どもを見かけたら「ひと声」かける。
 - 地域の人が協力してパトロールや監視の目を強化する。
 - あやしい人を見かけたときは「ひと声」かけて確かめる。
- ※子どもたちを地域みんなで守る環境づくりに努めましょう。

家庭でルールを決めて

家庭環境や子どもの携帯電話、インターネットの使用状況に合ったルールを話し合しましょう。

- ・利用目的、利用時間を決める
- ・迷惑メールは削除する
- ・困ったときは必ず親に相談する
- ・ルール違反をしたら使わせないなど

地域住民で見守りましょう

子どもたちが、「無免許でバイクに乗っている」、「タバコやシンナーを吸っている」、「お酒を飲んでいる」といった姿を目撃したら、き然とした態度で注意しましょう。

その時には、命の尊さや健康被害などについて説明し、「なぜ悪いのか」ということをしっかりと話して、子どもたちの明るい未来を育てましょう。